

事例 16：明太子の寄生虫様異物

品 名：辛子明太子

苦情概要：収去した明太子の中から寄生虫様異物を確認。理化学検査のための処理中に発見されたため、異物が明太子の表面に付着していたか、内部に混入していたかは不明。

検査方法：肉眼および実体顕微鏡による観察。

ホルマリン固定後、組織標本を作製し顕微鏡で観察。

肉眼像



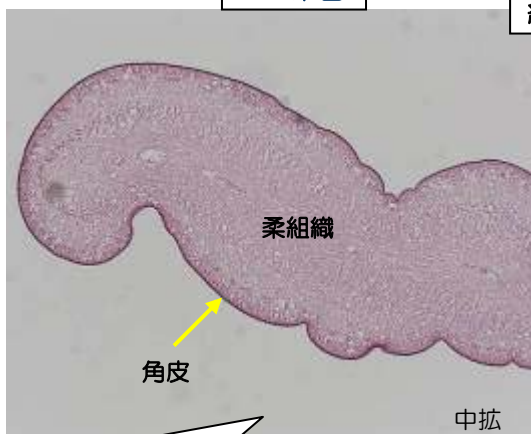
異物は白色で長さ約 30 mm。
条虫類のプレロセルコイドに類似した形態を示す。

〈参考〉擬葉目条虫のプレロセルコイド



- ・白色で長さ 30～40 mm 程度、円筒形。
- ・タラなどの消化管でしばしば見つかる。
- ・人体には寄生しない。

HE 染色



異物の断面の組織像

条虫類のプレロセルコイドに特徴的な角皮および内部に柔組織を認める。

組織像

コッサ染色（Ca を確認）



異物の断面の組織像（特殊染色後）

条虫類に特有の石灰小体と思われる物質を認める。

検査結果：肉眼および組織検査の結果から、異物は条虫類のプレロセルコイド（擬充尾虫）であることが判明。